

【最近のこれはお見事!】

『のみとり侍』まさかと思ったが、ほんとにこういう仕事があったそうです。

Wikipediaを参考に作っていただきました。

# シネマズライフ

2018年5月18日発行 第144号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

たかぎ りおん  
貴樹 諒音

【最近のこれはまずいぞ!】

『ゼンガタ』『ルパン三世』の銭形警部のお話ではないそうです。

## 映画の風景 日本の風景

※ 大阪 新世界 ※



『クン野郎と美しき世界』という映画がある。こんな映画だ。

EPISODE. 01 「ピアニストを撃つな!」  
走っている...一人の美文が走っている。名前はフジコ、理由はある男を探しているのだ。男の職業はピアニスト。名前はエロー。ある事から彼を愛するようになったのだ。しかし、実はフジコにはヤ○ザでマッドドックと言われている大門の愛人だった。大門は逃げ出したフジコを自分のジヨ○と共に追うが...

EPISODE. 02 「横吾ちやんと歌唄いの巻」  
「横吾ちやんと歌唄いの巻」  
歌を唄う人々から「唄」を喰ってしまふ少女と知り合った横吾。まずは自宅に匿(かくま)う。しかし、ちまたでは唄を奪われた歌手達が困り果てていた。そんな中、横吾はある事実に気づく...

EPISODE. 03 「光へ、前へ」  
息子を亡くしたオサム・裕子夫婦。オサムはヤクザな生活を送っていた男だ。二人はある事を知り沖縄へ行くが...

EPISODE. 04 「新しい詩(うた)」  
三つの物語の主人公達が集まったパーティ。物語の混沌とした世界、それぞれの結末が語られる...

記憶に新しい「S.M.A.P」の解散騒動。絆作曲折の末、稲垣吾郎・草彥剛・香取慎吾三人がジャニーズを辞め、新しい活動を開始した。映画は解散経緯など新しい活動、表に出ない混沌たる時期からの「新しい出発」を示唆(しほ)してあり、明るい気分になり好感が持てる。

大阪の「新世界」は、数少なくなつた大阪の気概を感じられる町だ。明治時代から、何もかも飲み込み新しい世界を作つてきた「新世界」。それは明るい新しい物語の始まりでもあった。  
そして、彼らの新しい物語が始まる。

『クン野郎と美しき世界』2018年 日本 監督 脚本: 園子温 山内ケンジ 太田光 児玉裕一  
出演: 藤田晋也 草彥剛 香取慎吾 浅野忠信 高橋真之介 馬場ふみか 中島セナ 尾野真千子 でんでん 神楽坂恵 新井浩文  
映画は稲垣吾郎・草彥剛・香取慎吾三人の演技者としての特異を生かしており、それぞれのエピソードは魅力的で、これからどんな【新しい映画】を描かれるのか楽しみである。

コラム  
人に知ってほしいのか  
知ってほしくないのか?  
と思う件  
中編

日本には他にも不思議な文書が多いのだが、「読めない!」という文書は意外と少ない。パターンがあるものの文書に書かれている文字が『神代文字』として残っているから、読める文書も多いようだ。

『神代文字』は神社にも伝わっている物もあり、さすがに歴史の古い日本ならはだなどと思う。徳島県の大宮八幡神社に残る『阿波文字』がその典型で、日本語の五十音に対応しており、伊勢神宮に奉納された奉納文にも『阿波文字』で書かれた文書もあるそう。

しかし、すべてが読める訳ではなく、いまだに読読できないものもある。『筑紫文字』がその代表で、壁画だろうとも言われているが、少なすぎる文字数という事もあり読読はされていない。



三井寺(園城寺)住持・敬光による解説書。



↑荒神山の御札。左側にあるのが神代文字。

『神代文字』は、文字に神秘さを持たせたいから意図的に作った文字・偽書の為につくった文字という説もあるが、確定できない部分もあり、実際に古代に書かれた文書だったとすると、何を伝えたかったのか研究してみると面白いかもしれない。

以下次号



↑『筑紫文字』福岡県うきは市にある重定古墳に描かれている。



いつも読んで頂いてありがとうございますm(\_ \_)m

今月は、諸事情の為発行できません。そこで、以前発行した号を再発行します。

また、この作品、こんな作品、この俳優・女優さんの出演した作品が

載ってる号を読みたいという要望があれば、

cinemaz-life@movie.nifty.jp

にメールかコメントを頂ければ幸いです。

